

【議会報告会】

○公立幼稚園について、保護者の中には大きな集団ではなく、小規模のゆったりとした環境での教育・保育を望む声もあるので、少人数となっても存続させてほしいがどうか。

⇒議員 園の適正規模については議論があるが、個人的には少人数の方が人間関係の形成にもよいと考えており、例え少人数となっても現在の教育環境は守ってほしいという意見を市に伝えている。

⇒議員 特に4、5歳の就学前教育については、小学校において30人程度の学級で生活することを考えても、一定規模の集団は必要だと考えている。

○私立幼稚園の広域化に伴ってバス通園に要する時間も長くなる場合があるが、災害発生時の問題や、コロナ禍に伴う車内での会話禁止が子供の発達に与える影響も懸念される。私立幼稚園は県が管轄しているため、バス通園に係る適正な距離や時間について市では調査、検証していないとのことだが、市も把握しておくべきではないか。

⇒議員 バス通園の課題だけで園の広域化を否定することはできない。広域化の中で様々な友達ができ、その中でコミュニケーション力も育まれるのであって、狭い範囲の、変化のない人間関係の中で過ごすことのリスクも考えると一定規模の集団は確保される必要があると考える。

⇒議員 私立幼稚園の管轄は県であるが、市としても状況を把握しておく必要はあると考えるので、そういった部分も確認していきたい。

○公立幼稚園の園児数を増やし、廃園を回避するためにも、3歳児保育を行えないのか。

⇒議員 亀山市では平成3年から公立幼稚園で3歳児保育を行っているが、現在定員割れをしている状況である。公立幼稚園の園児数の減少は幼児教育・保育の無償化によるところが大きいと考えている。

⇒議員 市は私立幼稚園との過去の約束に基づいて公立幼稚園で3歳児保育を行わないと言っているだけで、議会では様々な議論がある。今議会において、「四日市市の“就学前教育の再生”に関する、市長への意見書」が可決され、市から公立幼稚園の3歳児保育、預かり保育について再検討した結果を議会に報告してもらう

予定であるので、そこで改めて議論する。

○市のシステム等で個人情報の不適切な閲覧がされないようにしてほしい。

○介護保険を利用したシニアカー、車椅子等のレンタルについて、要介護2から1となった方に対しても、状況を確認して適切に対応してほしい。

○マスクを着用していない市職員がいるので指摘したい。

⇒議員 担当部局に伝える。

○こども園では保育士と幼稚園教諭と一緒に勤務することになるが、それによって現場の負担が増えるなどの影響はないのか。

⇒議員 園内で異なった業務を行うことに対する苦勞はあると考えるが、現場の混乱を招かないように運営していく必要がある。

⇒議員 本市におけるこども園の運営について総括し、その結果を公表すべきと考えている。

⇒議員 こども園の状況を聞く中では、教育認定児と保育認定児の交流が上手く行われていると考えている。今後こども園の質をいかに高めていくかという視点で取り組むべきと考えている。

○公立幼稚園では少人数であっても良い教育・保育をしてもらっているのに、廃園となっていくことが当然のような風潮が残念である。今議会において「四日市市の“就学前教育の再生”に関する、市長への意見書」が可決されたが、市は方針を変えないと思うし、何も変わらないのではないのか。

⇒議員 意見書に対して市からどういった回答があるか今の段階では分からないが、市民の声に答えられるように、そして子供が不利益を被らないように、市の姿勢をただしていくことが議会の役割と考えているので、意味のある議論をして市ともできる限り協力して進めていきたい。